事業名	空家等対策推進事業

１．基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (3)老朽施設の再編とあわせたエリア再生
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市空家等対策計画
	事業	100	空家等対策推進事業		
分類		Ｉ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	空家等対策の推進に関する特別措置法及び大東市空家等対策計画に基づき、空家等対策に係る施策を実施する。 【実施期間】 令和4年度～令和8年度（5年間）	事業概要（今年度）	・隣接地等取得費補助事業 ・空家リフォーム補助事業 ・子育て世代空家リフォーム補助事業 ・空家セミナー＆相談会 ・大東市空家管理システムデータ所有者確認業務 ・空家等対策協議会
スケジュール（全体）	R4　空家所有者特定 R5　空家所有者特定、空家所有者への意識啓発 R8　大東市空家等対策計画の見直し	スケジュール（今年度）	4月～　大東市空家管理システムデータ所有者確認作業 8月　空家セミナー＆相談会 1月　空家等対策協議会 通年　隣接地等取得費補助事業 空家リフォーム補助事業 子育て世代空家リフォーム補助事業

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料		3,718				
		使用料及び賃借料		25		10		
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金		2,498		200		2,246
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他		377		121		106
	事業費計（千円） a			6,618		331		2,352
	財源内訳	国庫支出金						
		府支出金						
		市債						
		その他		3,718				
		うち基金繰入金		3,718				
		一般財源		2,900		331		2,352
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,952	1.00	7,574	1.00	7,877
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		650		523		575
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			8,602		8,097		8,452
総事業費 a+b				15,220		8,428		10,804

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	補助金の申込件数	成果	令和5年度	件	目標	①5②3③8	①2②2③6	①2②2③3
			①2②2③3		実績	①1②1③3	①1②0③0	①1②2③1
	指標の定義	①リフォーム補助金②リフォーム補助金（子育て世代）③隣接地等取得費補助金の交付申込があった件数						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	一部補助金申込件数が目標を達成しなかったが、令和4年度から空家所有者の確認を行う取組みを始め、令和5年度は空家所有者への意識啓発の取組みを行った。今後は、空家の流通促進に向けた取組みを検討し、情報提供を行っていく。

事業名	まちづくり調査検討事業

１．基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (1)都市構造の改革
	款	07	土木費		2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市都市計画マスタープラン
	事業	102	まちづくり調査検討事業		大東市住宅マスタープラン
分類		Ｉ類事業			大東市水路総合的利用基本計画
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	R3～R5　連続立体交差事業基本構想策定 住道駅前デッキ基本計画・整備方針策定	事業概要（今年度）	・連続立体交差事業基礎調査 ・住道駅前デッキ整備方針策定
スケジュール（全体）	・連続立体交差事業基本構想策定 R3　現況調査、鉄道高架化案比較検討 R4　鉄道高架の平面・縦断検討、概算工事費 R5　費用便益調査、事業効果 ・住道駅前デッキ関係 R3～R4　住道駅前デッキ基本計画策定 R5　住道駅前デッキ整備方針策定	スケジュール（今年度）	5月　連続立体交差化基礎調査業務契約 10月　住道駅前デッキ整備方針策定業務契約 住道駅周辺等活性化応援団コーディネート業務契約 3月　連続立体交差化基礎調査業務完了 住道駅前デッキ整備方針策定業務完了 住道駅周辺等活性化応援団コーディネート業務完了

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費			375			
		役務費						
		委託料		9,900		31,533		14,157
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他		350		152		
	事業費計（千円） a			10,250		32,060		14,157
	財源内訳	国庫支出金						
		府支出金						
		市債						
		その他		8,664		25,460		11,017
		うち基金繰入金		6,595		14,832		8,105
		一般財源		1,586		6,600		3,140
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	2.50	19,880	3.00	22,722	2.00	15,754
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		1,625		1,569		1,150
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			21,505		24,291		16,904
総事業費 a+b				31,755		56,351		31,061

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	計画策定の進捗	活動	令和5年度	100	%	目標	100	100	100
						実績	75	100	100
	指標の定義	計画策定の進捗割合							
指標②	【連立】費用便益の算出	活動	令和5年度	100	%	目標	100	100	100
						実績	100	100	100
	指標の定義	業務の進捗割合							
指標③						目標			
						実績			
	指標の定義								

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	【連立】令和3年度から現況調査等の基礎調査を行い、令和5年度は鉄道高架の一部区間の路線検討、概略費用便益検討を行った。 【住道駅周辺等】応援団を取りまとめるコーディネート業務を行うとともに、住道駅前デッキ整備方針を策定することができた。

事業名	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業

１．基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (2)減災の推進
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画
	事業	104	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業		
分類		Ｉ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき、耐震化を促進する。 【実施期間】 平成28年度～令和7年度（10年間）	事業概要（今年度）	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画 ・耐震の個別相談会と展示会を実施し市民へ啓発を行った。 ・補助事業（耐震診断・耐震設計・耐震改修・除却）を継続実施した。
スケジュール（全体）	R7　大東市住宅・建築物耐震改修促進計画の見直し	スケジュール（今年度）	6月　耐震の個別相談会・展示会を開催 9月～10月　耐震・リフォームの電話相談会 通年　補助事業（耐震診断・耐震設計・耐震改修・木造住宅除却）

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費		440				
		役務費						
		委託料						
		使用料及び賃借料		9		4		9
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金		19,029		15,627		8,550
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計（千円） a			19,478		15,631		8,559
	財源内訳	国庫支出金		9,733		7,772		4,275
		府支出金		310		631		187
		市債						
		その他						
		うち基金繰入金						
		一般財源		9,435		7,228		4,097
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,952	1.00	7,574	1.00	7,877
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		650		523		575
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			8,602		8,097		8,452
総事業費 a+b				28,080		23,728		17,011

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		平成27年度	令和7年度	
住宅の耐震化	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	80%	95%	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	補助金の申込件数	成果	令和5年度	件	目標	①50②10 ③15④30	①44②6 ③8④50	①30②4 ③5④55
			①30②4③5④55		実績	①29②1 ③1④53	①13②3 ③3④40	①15②0 ③0④24
	指標の定義	①診断補助金②設計補助金③改修補助金④除却補助金の交付申込があった件数						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	耐震性の不足している木造住宅の所有者に対し除却にかかる補助を実施することにより、地震による人的及び物的な被害の軽減を図ることができた。なお、耐震診断については、耐震診断後すべての方が耐震改修するに至っていないため、今後も耐震化に向けた啓発を行う。

事業名	三世代家族推進事業

１．基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (3)老朽施設の再編とあわせたエリア再生
	款	07	土木費		5出産や子育ての安心と魅力の創出 (1)個々の価値観に応じた出産・子育ての希望の実現
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	
	事業	105	三世代家族推進事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	三世代の市内居住を支援することにより、親子が相互に支え合い、安心して暮らすことができるよう支援する。 【実施期間】 平成27年度～	事業概要（今年度）	三世代の市内居住を目的とした市外から転入した子世帯の住宅取得に要する費用を補助した。
スケジュール（全体）	H27　制度施行 H28.11　距離要件の緩和及び市内転居の追加 H30.10　親世帯の市外からの転入を追加 R3.3　新制度の実施	スケジュール（今年度）	通年　補助事業（新制度）の周知・PRにより子育て世帯の一層の流入を促進した。

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料						
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金		10,955		7,375		4,456
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計（千円） a			10,955		7,375		4,456
	財源内訳	国庫支出金						
		府支出金						
		市債						
		その他						
		うち基金繰入金						
		一般財源		10,955		7,375		4,456
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,952	1.00	7,574	1.00	7,877
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		650		523		575
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			8,602		8,097		8,452
総事業費 a+b				19,557		15,472		12,908

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	補助金の申込件数	成果	令和5年度	20	件	目標	35	20	20
						実績	41	21	19
	指標の定義	三世代家族推進事業補助金の交付申込があった件数							
指標②						目標			
						実績			
	指標の定義								
指標③						目標			
						実績			
	指標の定義								

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	平成27年度から三世代家族推進事業を実施し、令和3年度にも制度を見直し、高齢期及び子育て期を安心して過ごすための居住地の選択を支援することができた。なお、今後も引き続き人口増加による活力あるまちづくりの推進及び地域経済の活性化を図る。

事業名	景観形成推進事業

１．基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市景観計画
	事業	107	景観形成推進事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標		11 住み続けられるまちづくりを			

２．内容

事業概要（全体）	本市が有する特性を活かし、良好な景観形成を推進する。 【実施期間】 平成31年度～	事業概要（今年度）	御領地区の景観重点地区指定に向けた地元協議を行った。
スケジュール（全体）	H31.4　景観行政団体へ移行 R2.1　景観計画・景観条例施行 R3.4　景観アドバイザー制度施行	スケジュール（今年度）	11月　御領地区景観まちづくり報告会 3月　大東市景観審議会

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費		57				57
		旅費						1
		需用費						
		役務費						
		委託料		2,960				
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他		75		61		53
	事業費計（千円） a			3,092		61		111
	財源内訳	国庫支出金		1,480				
		府支出金						
		市債						
		その他		1,480		7		
		うち基金繰入金		1,480				
		一般財源		132		54		111
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,952	1.00	7,574	1.00	7,877
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		650		523		575
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			8,602		8,097		8,452
総事業費 a+b				11,694		8,158		8,563

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	「景観に配慮したまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	54	%	目標	32	38	44
						実績	30	25	41
	指標の定義	市民アンケートで「景観に配慮したまち」に対し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合							
指標②						目標			
						実績			
	指標の定義								
指標③						目標			
						実績			
	指標の定義								

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	「御領地区の景観まちづくりを考える会」を開催し景観について意見交換を実施したが、景観重点地区の指定について地権者の合意を得ることが困難な状況であったため、11月に「御領地区景観まちづくり報告会」を開催し、指定に向けた取組みを一旦終了することとなった。

事業名	野崎まちづくり推進事業

１．基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (3)老朽施設の再編とあわせたエリア再生
	款	07	土木費		2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	
	事業	109	野崎まちづくり推進事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	野崎地域の特性を活かした街並みの整備と空間を創出し、周辺全体のエリア価値を高める。	事業概要（今年度）	野崎地域周辺を含めたまちづくり構想の検討を行った。
スケジュール（全体）	・野崎地域周辺を含めた概要等の整理、構想等の検討など	スケジュール（今年度）	9月　野崎まちづくり推進業務契約 3月　野崎まちづくり推進業務完了

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　■ イ（地域価値向上）　■ ウ（地域経済発展） ■ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	野崎地域周辺を含めた概要の整理・構想等を検討する際には、 公民連携手法による事業化を展開する。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）
事業費	内訳	報償費			
		旅費			
		需用費			
		役務費			
		委託料			4,994
		使用料及び賃借料			
		工事請負費			
		公有財産購入費			
		備品購入費			
		負担金補助及び交付金			
		扶助費			
		補償補填及び賠償金			
		その他			
	事業費計（千円） a				4,994
	財源内訳	国庫支出金			
		府支出金			
		市債			
		その他			2,497
		うち基金繰入金			2,497
		一般財源			2,497
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）		0.50 3,939	
		再任用職員（人・千円）			
		任期付職員（人・千円）			
		会計年度任用職員（人・千円）			
		退職手当引当金繰入額			288
		他課等の協力分			
	人件費計（千円） b				4,227
総事業費 a+b					9,221

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
駅前の地価	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	四条畷駅 18万円、野崎駅 16万円、住道駅 25万円	四条畷駅 19万円、野崎駅 16.8万円、住道駅 25.5万円	国税庁「財産評価基準書 路線価図」（1月1日現在）

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	ビジョン策定の進捗	活動	令和7年度	100	%	目標	－	－	35
						実績	－	－	35
	指標の定義	ビジョン策定の進捗割合							
指標②						目標			
						実績			
	指標の定義								
指標③						目標			
						実績			
	指標の定義								

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	まちづくり構想の対象エリア内にある市営深野園住宅の建替え候補地について、検討及び地元協議を行い、現地で建て替える方針を決定することができた。

事業名	がけ地近接等危険住宅移転補助事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		開発指導課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (2)減災の推進
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	
	事業	108	がけ地近接等危険住宅移転補助事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	本市では「あふれる笑顔　幸せのまち大東づくり」を目標に、市民が笑顔で安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに資するため、がけ地の崩落等により住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域に存する住宅の移転を促進するため、その住宅の除却等に要する経費及びその住宅に代わる住宅の建設に要する経費の一部を補助するものである。 【実施期間】 令和2年1月～	事業概要（今年度）	広報誌、ホームページ及びSNS等を活用し、補助制度の周知を図り、申し込みを募った。 国・大阪府が移転強化に向け補助制度を拡充することに伴い、市要綱を改正した。 ・要綱適用　令和6年度から ・主な改正　除却費、引越等費用補助限度額拡充
スケジュール（全体）	令和2年1月　大東市崖地近接等危険住宅移転事業補助金交付要綱作成 令和2年度　申込募集 令和3年度　申込募集 令和4年度　申込募集 令和5年度　申込募集 要綱改正（補助制度拡充） 令和6年度　申込募集（補助制度拡充後の内容で募集）	スケジュール（今年度）	・4月～　補助金の申込受付開始 ・補助制度に伴う広報活動 ・要綱改正（補助制度拡充）

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	補助金事業であるため、公民連携手法にはそぐわない。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料						
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計（千円） a							
	財源内訳	国庫支出金						
		府支出金						
		市債						
		その他						
		うち基金繰入金						
		一般財源						
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.20	1,590	0.20	1,515	0.23	1,812
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		130		105		132
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			1,720		1,620		1,944
総事業費 a+b				1,720		1,620		1,944

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標値					
指標①	補助制度の周知	活動	令和5年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	100	100	100
	指標の定義	補助対象とされる土砂災害特別警戒区域内にある戸建住宅のうち、補助制度の周知がなされている割合						
指標②	補助利用件数	成果	令和5年度	件	目標	1	1	1
			1		実績	0	0	0
	指標の定義	がけ地近接等危険住宅移転事業補助金の交付申込があった件数						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	周知活動後の申込には至らなかったが、窓口相談等もあり、住宅移転の意識醸成に寄与した。 また、国・府が移転強化に向け制度を改正したことに伴い、令和6年度からの利用促進に向け、市も要綱を改正し補助限度額の拡充（除却費・引越等費用）を行った。

事業名	地域公共交通事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		交通政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	06	交通安全対策費	分野別計画	大東市公共交通基本計画
	事業	102	地域公共交通事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	・市内において公共交通（コミュニティバス、乗合タクシーなど）を運行し、交通利便性を確保する。 ・市内における公共交通体系について、適正化・効率化のための見直しを検討する。 ・計画に基づく取組事業の実施や検討。	事業概要（今年度）	・市全域における公共交通再編のための調査の実施。 ・コミュニティバス及び乗合タクシーを運行するための費用を負担。 ・民間バス路線である阪奈生駒線の運行を維持するための補助金を交付。 ・ニュースレター発行やモビリティマネジメントなど利用促進等の実施。
スケジュール（全体）	R4　東部地域乗合タクシーコース統合等改編 R5～　東部地域乗合タクシーコース統合等運行開始 継続的な運行方法の改良検討 公共交通再編に関わる基礎調査及び先進技術等の情報収集 R12まで　大東市公共交通基本計画の施策検証、見直し等	スケジュール（今年度）	地域公共交通事業 ・10月～　コミュニティバス乗降客数調査の実施 道路幅員調査の実施 ・3月　地域公共交通会議開催 公費負担抑制のための協賛金制度の構築 ・随時　乗合率向上に向けた運行方法の改良検討 公共交通再編の検討

公民連携の視点		
	条例要件	■ ア（複数課題解決）　■ イ（地域価値向上）　■ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	地域公共交通事業は、市内全域の公共交通の在り方について協議等を行い各地域の現状に即した公共交通を実施している。市が運行する公共交通については、民間バス事業者などで採算が取れない地域を運行しているため公民連携事業にそぐわない。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費		14		650		319
		役務費						460
		委託料		4,950		176		2,772
		使用料及び賃借料		3		8		11
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費				76		
		負担金補助及び交付金		88,841		83,014		102,787
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他		84		296		91
	事業費計（千円） a			93,892		84,220		106,440
	財源内訳	国庫支出金		2,475				
		府支出金						
		市債						
		その他		6,611		5,526		20,376
		うち基金繰入金		6,611		5,526		20,376
		一般財源		84,806		78,694		86,064
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	2.50	19,880	1.95	14,769	2.25	17,723
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）			0.40	765	0.10	201
		退職手当引当金繰入額		1,625		1,020		1,294
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			21,505		16,554		19,218
総事業費 a+b				115,397		100,774		125,658

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	コミュニティバス利用客数	成果	令和5年度	人	目標	143,700	143,700	161,200
			161,200		実績	145,191	164,402	175,010
	指標の定義	利用客数（令和3年度以降の目標値は、コロナ禍による外出控えの影響を想定した数値）						
指標②	乗合タクシー利用客数	成果	令和5年度	人	目標	3,200	3,200	2,900
			2,900		実績	2,660	2,755	3,385
	指標の定義	利用客数（令和3年度以降の目標値は、コロナ禍による外出控えの影響を想定した数値）						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	令和5年4月より東部地域乗合タクシーについては、5コースから3コースへ統合を行いダイヤの改定・ルートの変更を行い、利用客数の増加に繋がった。 また、コミュニティバスなど、コロナ禍からの回復により利用者は増加傾向だが、更なる利用者の獲得のため、周知等の利用促進が必要である。

事業名	放置自転車対策事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		交通政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	07	自転車対策費	分野別計画	
	事業	100	放置自転車対策事業		
分類		Ⅱ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	大東市自転車等の放置防止に関する条例に基づき、JR3駅（住道・野崎・四条畷）周辺の自転車等放置禁止区域内において、市道等の通行環境を保持し、通行者の安全や駅前景観を確保する。	事業概要（今年度）	・放置自転車の所持者に対する啓発指導。（放置自転車等に対する警告札の貼り付けなど） ・放置自転車等を放置禁止区域内から保管所まで移送。 ・保管所に収容された放置自転車等の返還及び移送保管費用の徴収。
スケジュール（全体）	毎年、年間を通じて放置自転車等の街頭啓発業務、移送業務、保管返還業務を実施することにより、駅周辺の良好な通行環境を維持する。	スケジュール（今年度）	通年　・自転車等放置禁止区域内での街頭啓発業務や移送業務の実施。 ・自転車保管所を開所し、自転車等の返還業務の実施。

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　■ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	放置自転車等の撤去に関しては、啓発・警告札、移送、保管・返還という流れとなる。収入の面では返還業務のみであり、他の業務（啓発・移送）を賄うことができないので、公民連携にそぐわない。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料		27,939		24,617		23,335
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計（千円） a			27,939		24,617		23,335
	財源内訳	国庫支出金						
		府支出金						
		市債						
		その他		1,725		1,631		1,382
		うち基金繰入金						
		一般財源		26,214		22,986		21,953
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.50	3,976	0.41	3,105	0.54	4,254
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）	1.00	2,394	0.40	765	0.25	502
		退職手当引当金繰入額		325		214		311
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			6,695		4,084		5,067
総事業費 a+b				34,634		28,701		28,402

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	放置自転車の減少	成果	令和5年度	台	目標	1,320	1,100	1,100
			1,100		実績	1,137	1,193	1,210
	指標の定義	撤去した放置自転車等の台数						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	放置自転車の撤去数は、新型コロナウイルス感染症拡大によって、一時的に減少したが、時間の経過とともに徐々に日常の生活に戻ってきたため自転車等の撤去数が増加傾向にある。今後も、街頭啓発業務及び移送業務を継続して実施し、駅周辺の良好な通行環境の維持に努める。

事業名	橋梁長寿命化等修繕事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	02	道路維持費	分野別計画	
	事業	100	橋梁長寿命化等修繕事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	・橋梁長寿命化 ・橋梁点検 ・市道の適切な維持管理	事業概要（今年度）	・補修工事に向けて深北大橋橋梁補修設計業務委託を実施した。 ・管理橋梁の不具合箇所の補修工事を実施した。 ・管理橋梁の定期点検調査業務を実施した。
スケジュール（全体）	・市内重要橋梁の維持修繕を実施 ・市管理橋梁の点検（5年以内に1回） ・市道（1、2級路線）の点検及び長寿命化計画の改訂	スケジュール（今年度）	深北大橋橋梁調査・補修設計業務委託完了(12月) 松の鼻橋高欄補修工事完了(12月) 橋梁定期点検調査業務完了(3月)

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	橋梁長寿命化事業については、橋梁の補修工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）
事業費	内訳	報償費			
		旅費			
		需用費			
		役務費			
		委託料	25,328	8,342	5,519
		使用料及び賃借料			
		工事請負費	163,594	47,150	5,882
		公有財産購入費			
		備品購入費			
		負担金補助及び交付金		31,854	28,482
		扶助費			
		補償補填及び賠償金			
		その他			
	事業費計（千円） a		188,922	87,346	39,883
	財源内訳	国庫支出金	96,107	41,455	8,129
		府支出金			
		市債	66,000	17,200	
		その他	6,634	28,691	31,754
		うち基金繰入金		28,691	31,754
		一般財源	20,181		
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.50 / 11,928	0.65 / 4,923	0.65 / 5,120
		再任用職員（人・千円）			
		任期付職員（人・千円）			
		会計年度任用職員（人・千円）			
		退職手当引当金繰入額	975	340	374
		他課等の協力分			
	人件費計（千円） b		12,903	5,263	5,494
総事業費 a+b			201,825	92,609	45,377

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	単年度達成率（事業費ベース）	活動	令和5年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	88	87	90
	指標の定義	単年度における事業の達成率						
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	30.6	36.4	42.3
			54		実績	35.6	36.1	39.3
	指標の定義	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	令和5年度に予定していた事業については、予定通りに進捗した。 管理橋梁の高齢化により維持補修費の増加が見込まれるため、長寿命化計画に基づき補修工事を実施することで、維持管理費の平準化に努める。

事業名	道路新設改良事業

1．基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	03	道路新設改良費	分野別計画	
	事業	100	道路新設改良事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

2．内容

事業概要（全体）	円滑な通行と安全の確保のため、道路拡幅、交差点改良や歩道改良等に伴う、設計や工事を実施する。	事業概要（今年度）	市道の改良に必要となる用地取得、設計委託及び道路拡幅工事等を行った。
スケジュール（全体）	歩道の拡幅・段差の解消等のバリアフリー化工事や狭小な道路の拡幅工事、交差点改良工事等を行う。 市道の改良に必要となる用地を取得する。	スケジュール（今年度）	片町線附属街路南側2号線歩道改良工事完了(9月) 住道停車場線、南の子川中線舗装工事完了(11月) 氷野鴻池線舗装工事完了(1月) 住道駅前西線公共歩廊解体撤去完了(2月) 中垣内浜公園前線交差点詳細設計業務委託完了(3月) 中垣内浜公園前線道路整備に伴う物件調査等業務委託完了(3月) 緑風冠高校南側線他１路線道路改良工事完了(3月) 諸福中垣内線舗装工事完了(3月) 谷田川左岸線電線共同溝詳細設計業務委託完了(3月)

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	道路新設改良事業は道路の新設工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						38
		役務費						
		委託料		11,554		18,177		21,999
		使用料及び賃借料		9		9		9
		工事請負費		25,512		25,036		120,800
		公有財産購入費						270
		備品購入費						171
		負担金補助及び交付金				9,191		48,758
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						3,690
		その他						
	事業費計（千円） a			37,075		52,413		195,735
	財源内訳	国庫支出金						15,892
		府支出金						
		市債						14,000
		その他		7,433		52,413		165,843
		うち基金繰入金				52,413		165,843
		一般財源		29,642				
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.50	11,928	1.40	10,604	1.40	11,028
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		975		732		805
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			12,903		11,336		11,833
総事業費 a+b				49,978		63,749		207,568

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	単年度達成率（事業費ベース）	活動	令和5年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	67	58	62
	指標の定義	単年度における事業の達成率						
指標②	「快適な歩行者空間が確保されたまち」に対する満足度	成果	令和7年度	%	目標	18.7	22	25.4
			32		実績	16.6	15.3	19.1
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	令和5年度に予定していた道路工事及び設計委託については概ね予定通りに進捗し、既存道路の安全・安心の向上及び防災拠点へのアクセス向上に寄与した。 市道の改良に必要となる用地取得については、地権者との交渉に時間を要し、1件のみの契約となったが、今後も地権者に対し事業の趣旨を説明し理解して頂くことで、早期の用地取得に努める。

事業名	北条踏切改良事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	03	道路新設改良費	分野別計画	
	事業	101	北条踏切改良事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	北条踏切及び前後道路を拡幅し、歩道を新設して通行の安全を確保する。	事業概要（今年度）	事業予定地の用地取得に係る交渉を行った。
スケジュール（全体）	・用地交渉 ・道路工事 ・踏切内工事	スケジュール（今年度）	事業予定地の境界確定

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	北条踏切改良事業は踏切拡幅等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料						
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計（千円） a							
	財源内訳	国庫支出金						
		府支出金						
		市債						
		その他						
		うち基金繰入金						
		一般財源						
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.50	3,976	0.25	1,894	0.25	1,969
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		325		131		144
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			4,301		2,025		2,113
総事業費 a+b				4,301		2,025		2,113

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	事業達成率（事業費ベース）	活動	令和6年度	100	%	目標	100	100	100
						実績	28	28	28
	指標の定義	当該踏切改良事業の令和6年度までの事業達成率							
指標②	「快適な歩行者空間が確保されたまち」に対する満足度	成果	令和7年度	32	%	目標	18.7	22	25.4
						実績	16.6	15.3	19.1
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度							
指標③						目標			
						実績			
	指標の定義								

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	境界確定の実施について、地権者との交渉に時間を要し、業務の実施に至らなかった。 今後も地権者との交渉を継続し、早期の用地取得に努める

事業名	東部地域道路整備事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	03	道路新設改良費	分野別計画	
	事業	102	東部地域道路整備事業		
分類		Ｉ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	狭小な道路や南北のアクセス性を改善することにより、東部地域全体の利便性向上を図る。	事業概要（今年度）	・新規事業箇所の土地調査等を行った。
スケジュール（全体）	・現道の車道及び歩道の改良 ・交差点部の歩道段差等の改良 ・円滑な通行と安全確保のための現道拡幅	スケジュール（今年度）	七ツ橋北尾崎線土地調査業務委託完了(8月)

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	東部地域道路整備事業は本市東部エリアの道路拡幅等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料		485		1,487		500
		使用料及び賃借料						
		工事請負費				6,214		
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計（千円） a			485		7,701		500
	財源内訳	国庫支出金						
		府支出金						
		市債						
		その他				7,280		499
		うち基金繰入金				7,280		499
		一般財源		485		421		1
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.50	3,976	0.50	3,787	0.50	3,939
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		325		262		288
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			4,301		4,049		4,227
総事業費 a+b				4,786		11,750		4,727

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	単年度達成率（事業費ベース）	活動	令和5年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	50	84	21
	指標の定義	単年度における事業の達成率						
指標②	「快適な歩行者空間が確保されたまち」に対する満足度	成果	令和7年度	%	目標	18.7	22	25.4
			32		実績	16.6	15.3	19.1
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	令和5年度に予定していた野崎11号線の境界明示及び設計委託は、他課が実施した工事に因り野崎11号線が拡幅されたため、不執行となり単年度達成率が低くなったが、七ツ橋北尾崎線の土地調査は、予定通りに実施できたことで、既存道路の安全・安心の向上及び東部地域の利便性向上に寄与した。

事業名	深野北谷川線新設事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	項	03	都市計画費		
	目	05	深野北谷川線新設費	分野別計画	
	事業	100	深野北谷川線新設事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	本市の南北を結ぶ幹線道路として、また広域避難地である大東中央公園へのアクセス道として重要な役割を担っている都市計画道路深野北谷川線の整備を行う。	事業概要（今年度）	・引き続き事業用地取得に向け、土地鑑定や建物補償算定を行い、道路整備に支障となる物件移転を行った。 ・整備に支障となる構造物等の撤去を行った。
スケジュール（全体）	H30～R5　土地鑑定、補償算定 物件補償、用地買収 R6～　整備工事着手予定	スケジュール（今年度）	・深野北谷川線道路詳細修正設計及び電線共同溝詳細設計業務委託完了(3月) ・深野北谷川線道路整備に伴う土地鑑定評価業務委託完了 その1　R5　8月、その2　R5　10月 その3　R6　1月 ・深野北谷川線道路整備に伴う物件調査等業務委託完了(3月) ・土地売買契約完了(3件) 【繰越】R5 1月　1件、R5 3月　2件 建物移転補償契約完了(4件) 【繰越】R5 1月　1件、R5 3月　2件 【現年】R5 7月　1件 ・支障物撤去工事完了 その1　R5　11月、その2　R5　12月 その3　R6　2月、その4　R6　2月 その5　R6　3月

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	深野北谷川線新設事業は都市計画道路深野北谷川線の新設工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料		8,929		25,229		29,176
		使用料及び賃借料						
		工事請負費		1,119		19,975		6,591
		公有財産購入費		37,322		62,871		17,874
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金		24,941		81,621		8,923
		その他						
	事業費計（千円） a			72,311		189,696		62,564
	財源内訳	国庫支出金		10,756		59,926		10,713
		府支出金						
		市債		46,300		27,200		9,700
		その他		5,207		51,288		42,151
		うち基金繰入金				51,288		42,151
		一般財源		10,048		51,282		
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.50	11,928	1.10	8,331	1.10	8,665
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		975		575		633
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			12,903		8,906		9,298
総事業費 a+b				85,214		198,602		71,862

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次 / 目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	事業達成率（事業費ベース）	活動	令和11年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	8	16	19
	指標の定義	当該事業の完成までの事業達成率						
指標②	「快適な歩行者空間が確保されたまち」に対する満足度	成果	令和7年度	%	目標	18.7	22	25.4
			32		実績	16.6	15.3	19.1
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	令和5年度に予定していた用地取得については、建物移転補償契約が1件のみとなり、予定通りに進捗できなかった。整備スケジュールも決まっているため、地権者に対し事業の趣旨を説明し理解して頂くことで、早期の用地取得に努め、安全・安心な道路機能の向上、防災拠点へのアクセス向上に向け、事業を実施していく。

事業名	都市公園再整備事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		みどり課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	項	03	都市計画費		5出産や子育ての安心と魅力の創出 (4)安全・安心の子育て環境づくり
	目	02	公園管理費	分野別計画	
	事業	101	都市公園再整備事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	大東市緑の基本計画、大東市公共施設等個別施設計画、大東市都市公園再整備計画等に基づき、開設より20年以上が経過した都市公園について、老朽化した施設のリニューアルや地域のニーズに応じた特色ある公園づくりを行うもの。	事業概要（今年度）	壱の坪公園・笠神公園の実施設計、西楠の里公園・御供田公園の基本設計、大東中央公園多目的広場防球用フェンス等の設計業務を行った。また、明美の里公園の再整備等、地域のニーズに応じた再整備を進めた。
スケジュール（全体）	（再整備） ・老朽化の進んでいる15公園を令和4年度より10箇年で再整備を行う。 （駐車場） ・駐車場整備の利用状況等を確認し、令和7年度以降、引き続き管理許可により事業者が駐車場の運営管理を行う予定。 （防球用フェンス） ・大東市公園施設予約システムにより貸出を行っている5公園について、順次防球用フェンス等を整備する。	スケジュール（今年度）	・明美の里公園再整備工事 3月　完了 ・大東中央公園多目的広場防球用フェンス等設計 3月　完了 ・西楠の里公園基本設計 3月　完了 ・御供田公園基本設計 3月　完了 ・壱の坪公園実施設計業務委託 2月　完了 ・笠神公園実施設計業務委託 2月　完了

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　■ イ（地域価値向上）　■ ウ（地域経済発展） ■ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	供用より長い年月を経た公園の再整備や公園の安全性向上のための防球ネットの整備等を行う。民間の有するノウハウ等を取り入れ、より魅力的な公園となるように事業を行う。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費			119			
		委託料	7,003		10,617		18,106	
		使用料及び賃借料						
		工事請負費	113,796		164,566		51,170	
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計（千円） a		120,799		175,302		69,276	
	財源内訳	国庫支出金			1,700		46,279	
		府支出金						
		市債					3,600	
		その他	115,705		146,107		3,450	
		うち基金繰入金	115,705		146,107		3,450	
		一般財源	5,094		27,495		15,947	
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	2.00	15,904	1.90	14,391	1.80	14,179
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		1,300		994		1,035
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			17,204		15,385		15,214
総事業費 a+b				138,003		190,687		84,490

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標値					
指標①	再整備の公園数（45公園）	活動	令和13年度	公園	目標	－	0	1
			15		実績	－	0	1
	指標の定義	再整備を実施することとしている公園のうち、整備工事が完了した公園数						
指標②	「公園整備が充実したまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	44	48.5	53
			62		実績	45.2	40.9	50.4
	指標の定義	市民アンケートで「公園整備が充実したまち」に対し、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	予定していた事業については、予定通り設計・工事を進めた。 地域のニーズに応じた再整備を行うため関係者と調整を図り、魅力ある公園・施設整備に努める。

事業名	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		駅周辺整備課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (1)都市構造の改革
	款	07	土木費		2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	項	03	都市計画費		
	目	23	野崎駅・四条畷駅周辺整備費	分野別計画	
	事業	100	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	本市には鉄道駅が3駅あり、うち「JR住道駅」の周辺においては、以前より重点的に整備を進めてきたが、今後は市東北部の振興を図るため、「JR野崎駅」「JR四条畷駅」の周辺整備に着手する必要がある。そのため、2駅周辺で特色ある魅力的な整備を行う。 【実施期間】 平成25年度～令和7年度	事業概要（今年度）	・四条畷駅前東線及び四条畷駅東側駅前広場の電線共同溝整備工事を行う。 工事期間：令和5年6月～令和7年3月
スケジュール（全体）	整備期間は令和7年度までを予定 【四条畷駅周辺】 ・ペデストリアンデッキ ・電線共同溝整備 ・四条畷駅前東線及び駅前広場	スケジュール（今年度）	・四条畷駅前東線及び四条畷駅東側駅前広場電線共同溝整備 5月：工事協定締結 6月：工事着手

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	本事業は、市東北部の振興と利便性の向上を図るため、JR野崎駅及びJR四条畷駅の周辺整備を行うものである。 本事業は自由通路・道路・立体駐輪場等のインフラ整備が主な施策となっており、民間の有するノウハウ等を活かすことが出来ない。 よって、本事業における公民連携手法の導入は不可能。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費		39		40		32
		需用費		152		643		995
		役務費		1,027		1,256		1,126
		委託料		73,489		33,023		44,986
		使用料及び賃借料		8,111		20,252		32,534
		工事請負費		334,566		616,665		405,265
		公有財産購入費		207,357		18,548		
		備品購入費				34		11
		負担金補助及び交付金		326,874		279,783		61,603
		扶助費						
		補償補填及び賠償金		656,498		8,730		121,004
		その他						31
	事業費計（千円） a			1,608,113		978,974		667,587
	財源内訳	国庫支出金		500,577		69,023		200,398
		府支出金						
		市債		814,200		743,400		343,200
		その他				165,551		123,989
		うち基金繰入金				165,551		123,989
		一般財源		293,336		1,000		
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	5.50	43,736	5.00	37,870	5.00	39,385
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）	1.00	2,394	1.00	1,912	1.00	2,006
		退職手当引当金繰入額		3,575		2,615		2,875
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			49,705		42,397		44,266
総事業費 a+b				1,657,818		1,021,371		711,853

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	目標値	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	活動	令和7年度	100	%	目標	－	71.95	81.3
						実績	62.6	72.4	79.0
	指標の定義	総事業費ベースに対する進捗率							
指標②	「快適な歩行者空間等が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	32	%	目標	18.7	22	25.4
						実績	16.6	15.3	19.1
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度							
指標③						目標			
						実績			
	指標の定義								

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	野崎駅東西の駅前広場整備ついては進捗に遅れが生じていたが、令和5年度に完成し駅周辺の利便性向上に寄与した。また四条畷駅東側の電線共同溝整備については、令和6年度末の完成に向け早期発注・着手することができた。今後においても駅周辺における利便性の向上と魅力ある駅前空間の創出に向け、着実な事業の推進を図る。

事業名	都市浸水対策事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		水政課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		
	項	05	河川費		
	目	03	都市浸水対策費	分野別計画	大東市地域防災計画
	事業	100	都市浸水対策事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標					

２．内容

事業概要（全体）	集中豪雨等による浸水被害を軽減するために、効果的な雨水流出抑制施設（貯留施設）を市内の小中学校に整備するものである。	事業概要（今年度）	・灰塚小学校校庭貯留浸透施設整備工事を実施した。
スケジュール（全体）	校庭貯留浸透施設整備工事（予定） R5　灰塚小学校 R7　大東中学校 R9　深野小学校 R11 諸福小学校 R13 北条中学校 R15 泉小学校 R17 三箇小学校 R19 四条小学校	スケジュール（今年度）	・灰塚小学校校庭貯留浸透施設整備工事 6月：入札・業者決定 7月：工事開始 11月：工事完了

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	本事業については、収益が見込まれない事業であるため導入は不可である。

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料			5,621		423	
		使用料及び賃借料						
		工事請負費	55,708		998		67,121	
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計（千円） a		55,708		6,619		67,544	
	財源内訳	国庫支出金	14,000		1,000		14,000	
		府支出金						
		市債	37,500		1,800		25,200	
		その他					13,059	
		うち基金繰入金					13,059	
		一般財源	4,208		3,819		15,285	
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.50	3,976	0.50	3,787	0.50	3,939
		再任用職員（人・千円）						
		任期付職員（人・千円）						
		会計年度任用職員（人・千円）						
		退職手当引当金繰入額		325		262		288
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			4,301		4,049		4,227
総事業費 a+b				60,009		10,668		71,771

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標値					
指標①	市内小中学校校庭貯留施設の整備率	活動	令和19年度	%	目標	60	60	65
			100		実績	60	60	65
	指標の定義	市内小中学校校庭貯留施設整備を行う予定の全20校のうち、整備が完了した箇所数						
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	30.6	36.4	42.3
			54		実績	35.6	36.1	39.3
	指標の定義	市民アンケートで「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	予定どおり灰塚小学校校庭貯留浸透施設の整備が完了した。

事業名	水路整備事業

１．基礎情報

所属		都市整備部		水政課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	項	05	河川費		
	目	05	河川改修費	分野別計画	大東市地域防災計画
	事業	100	水路整備事業		
分類		Ⅰ類事業			
関連するSDGs 17の目標		11 住み続けられるまちづくりを			

２．内容

事業概要（全体）	地域の実情を十分に把握し、地域住民の快適な生活を実現するための水路整備などを実施することで、水路の環境改善を図り、市民に親しまれる水辺環境を創出することを目的としたものである。	事業概要（今年度）	・新田1号水路の未整備区間である大坪橋橋梁下整備の設計を実施した。
スケジュール（全体）	水路整備工事（予定） H28～R6　新田地内水路整備 R7 ～R8　太子田地内水路整備 R8 ～R10 赤井地内水路整備	スケジュール（今年度）	・大坪橋橋梁下整備工事に伴う設計業務委託 6月：入札 7月：業者決定・設計開始 12月：設計完了

公民連携の視点		
	条例要件	□ ア（複数課題解決）　□ イ（地域価値向上）　□ ウ（地域経済発展） □ エ（公的負担軽減）　□ オ（自立的・持続可能）
	検討内容	本事業については、収益が見込まれない事業であるため導入は不可である

３．事業費等

区分			令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）
事業費	内訳	報償費			
		旅費			
		需用費	18		
		役務費	196		
		委託料	2,423	993	2,579
		使用料及び賃借料			
		工事請負費	182,916	3,960	
		公有財産購入費			
		備品購入費			
		負担金補助及び交付金			
		扶助費			
		補償補填及び賠償金	4,052	856	
		その他			
	事業費計（千円） a		189,605	5,809	2,579
	財源内訳	国庫支出金	10,000		
		府支出金			
		市債	89,400		
		その他	1,621		
		うち基金繰入金			
		一般財源	88,584	5,809	2,579

区分			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（決算）	
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.50	3,976			0.30	2,363
		再任用職員（人・千円）			0.10	414		
		任期付職員（人・千円）			0.50	1,906		
		会計年度任用職員（人・千円）	0.50	1,197				
		退職手当引当金繰入額		325				173
		他課等の協力分						
	人件費計（千円） b			5,498		2,320		2,536
総事業費 a+b				195,103		8,129		5,115

４．事業評価

(1)関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2)評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
			目標値					
指標①	水路整備工事の推進	活動	令和10年度	%	目標	60	66	72
			100		実績	60	61	61
	指標の定義	水路整備工事を行う予定延長L=1,500mのうち、整備工事を行った延長の割合						
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	30.6	36.4	42.3
			54		実績	35.6	36.1	39.3
	指標の定義	市民アンケートで「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

５．総括

	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
自己点検	令和5年度は予定どおり大坪橋橋梁下整備に必要な実施設計を完了させた。令和6年度の渇水期に工事を実施することにより新田地内水路整備はすべて完了となる。また、残りの水路整備については、早期に実現できるよう事業進捗を図る。